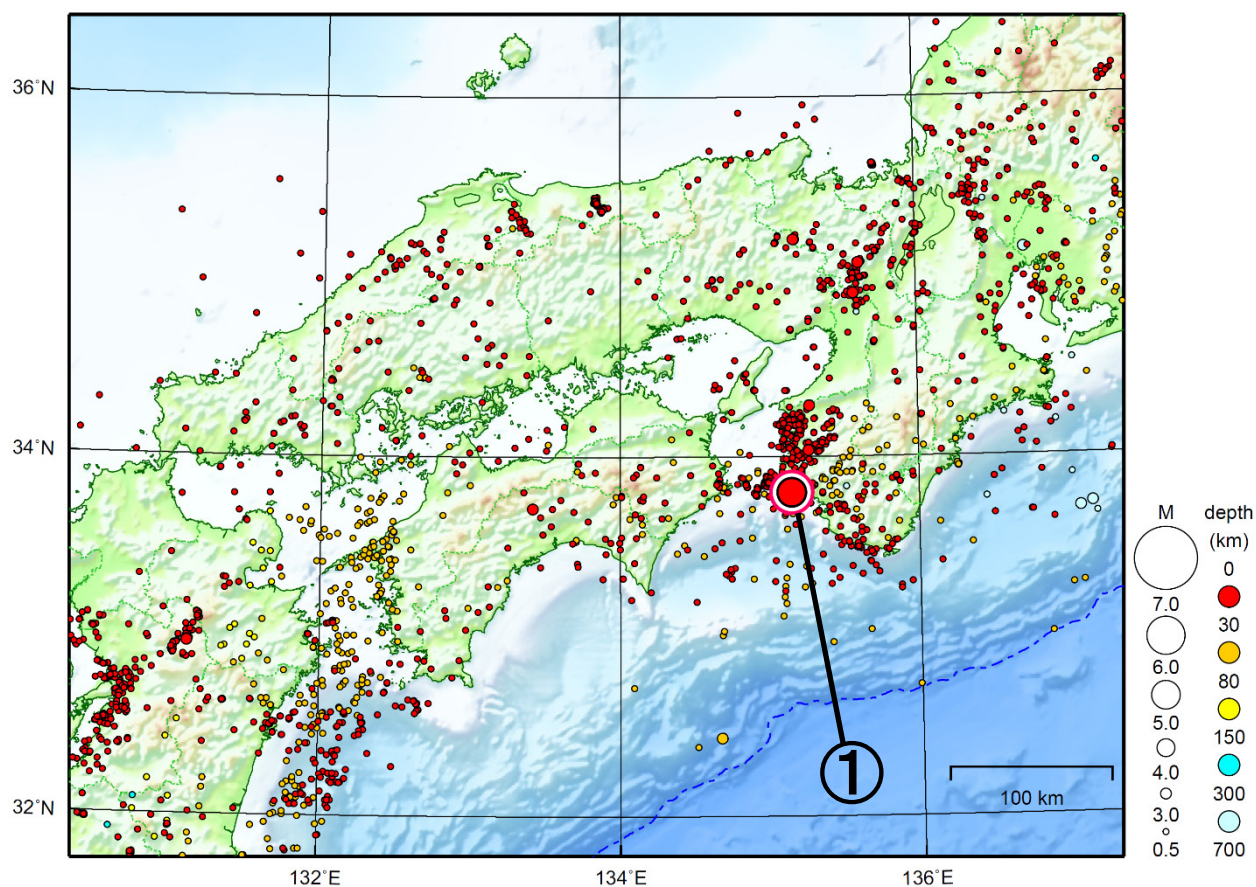


近畿・中国・四国地方

2021/12/01 00:00 ~ 2021/12/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 12月3日に紀伊水道で M5.4 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

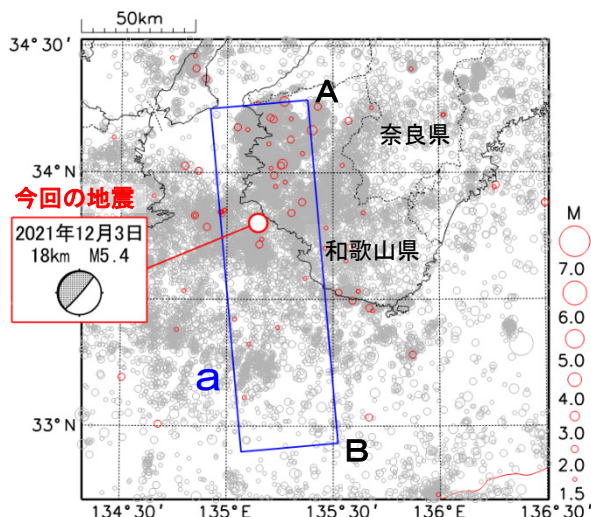
気象庁・文部科学省

12月3日 紀伊水道の地震

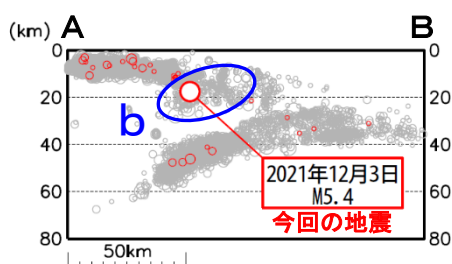
震央分布図

(1997年10月1日～2021年12月31日、
深さ0～80km、 $M \geq 1.5$)

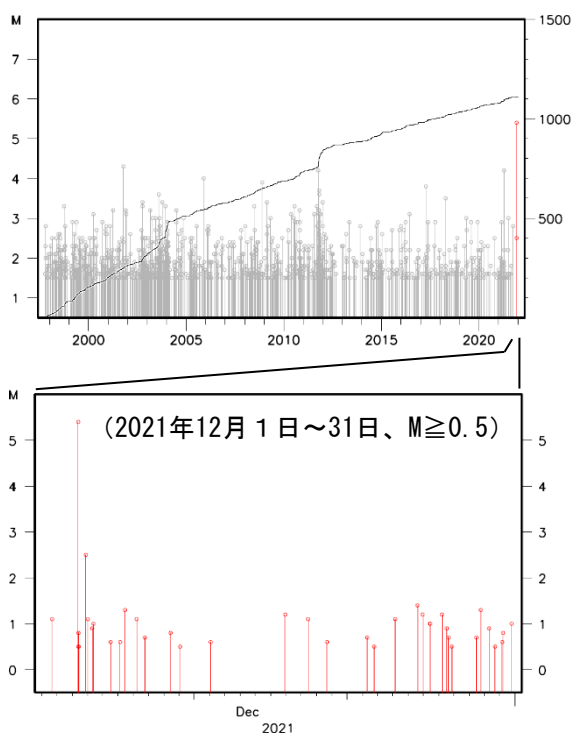
2021年12月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



2021年12月3日09時28分に紀伊水道の深さ18kmで $M 5.4$ の地震 (最大震度5弱) が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構 (CMT解) は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により軽傷5人、住家一部破損2棟などの被害が生じた (12月13日09時30分現在、総務省消防庁による)。今回の地震後、震度1以上を観測する地震は発生していない。

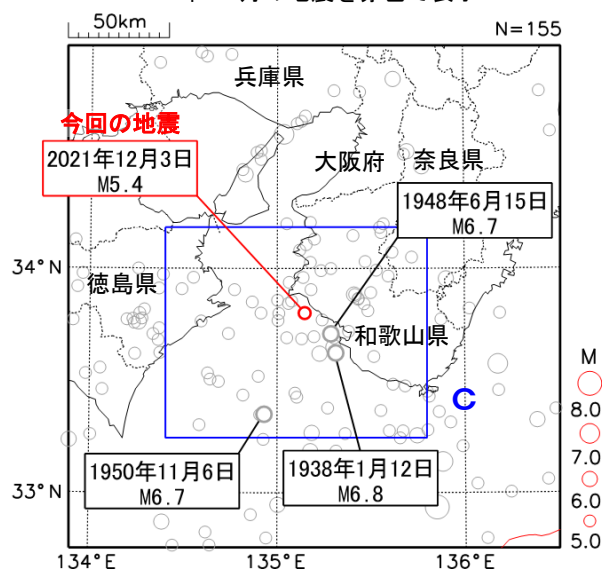
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 4.0$ 程度の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1960年代にかけて $M 6.0$ 以上の地震が時々発生していた。このうち1948年6月15日に発生した $M 6.7$ の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

(1919年1月1日～2021年12月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2021年12月の地震を赤色で表示



領域c内のM-T図

